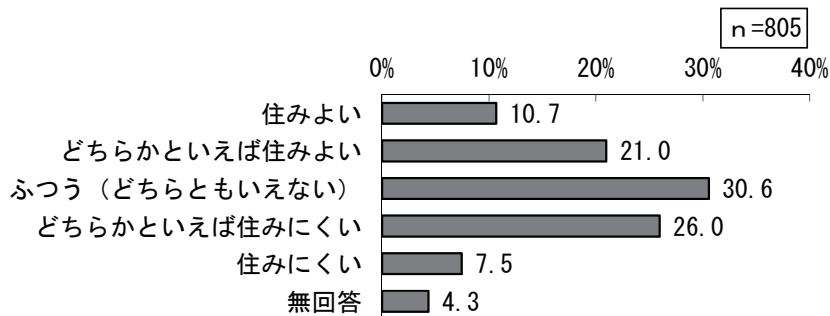


2 川島町のことについて

問2 まちの全体の印象についておたずねします。あなたにとって、川島町は住みよいまちですか。（1つに〇）

- 川島町は住みよいかは、「ふつう（どちらともいえない）」30.6%が最も多く、次いで、「どちらかといえば住みにくい」26.0%、「どちらかといえば住みよい」21.0%と続く。



- 地区別でみると、伊草（市街化調整区域）は「どちらかといえば住みよい」が最も多く、三保谷では「どちらかといえば住みにくい」が他に比べて多い。
- 居住歴別でみると、5年以上10年未満では「どちらかといえば住みよい」が他に比べて多い。

	合計	住みよい	どちらか といえ ば 住みよ い	ふつう (どち らとも いえ ない)	どちらか といえ ば 住みに くい	住みに くい
全体	805	86	169	246	209	60
	100.0	10.7	21.0	30.6	26.0	7.5
中山（市街化区域）	166	8	30	66	43	12
	100.0	4.8	18.1	39.8	25.9	7.2
中山（市街化調整区域）	51	7	13	14	13	3
	100.0	13.7	25.5	27.5	25.5	5.9
伊草（市街化区域）	158	17	35	50	44	7
	100.0	10.8	22.2	31.6	27.8	4.4
伊草（市街化調整区域）	41	4	16	14	2	4
	100.0	9.8	39.0	34.1	4.9	9.8
三保谷	91	5	17	28	29	10
	100.0	5.5	18.7	30.8	31.9	11.0
出丸	91	10	21	25	20	10
	100.0	11.0	23.1	27.5	22.0	11.0
八ツ保	87	16	15	20	26	5
	100.0	18.4	17.2	23.0	29.9	5.7
小見野	88	14	16	19	26	6
	100.0	15.9	18.2	21.6	29.5	6.8
5年未満	37	5	7	10	11	3
	100.0	13.5	18.9	27.0	29.7	8.1
5年以上10年未満	36	1	4	11	14	5
	100.0	2.8	11.1	30.6	38.9	13.9
10年以上20年未満	109	12	19	35	29	8
	100.0	11.0	17.4	32.1	26.6	7.3
20年以上	614	65	138	188	154	43
	100.0	10.6	22.5	30.6	25.1	7.0

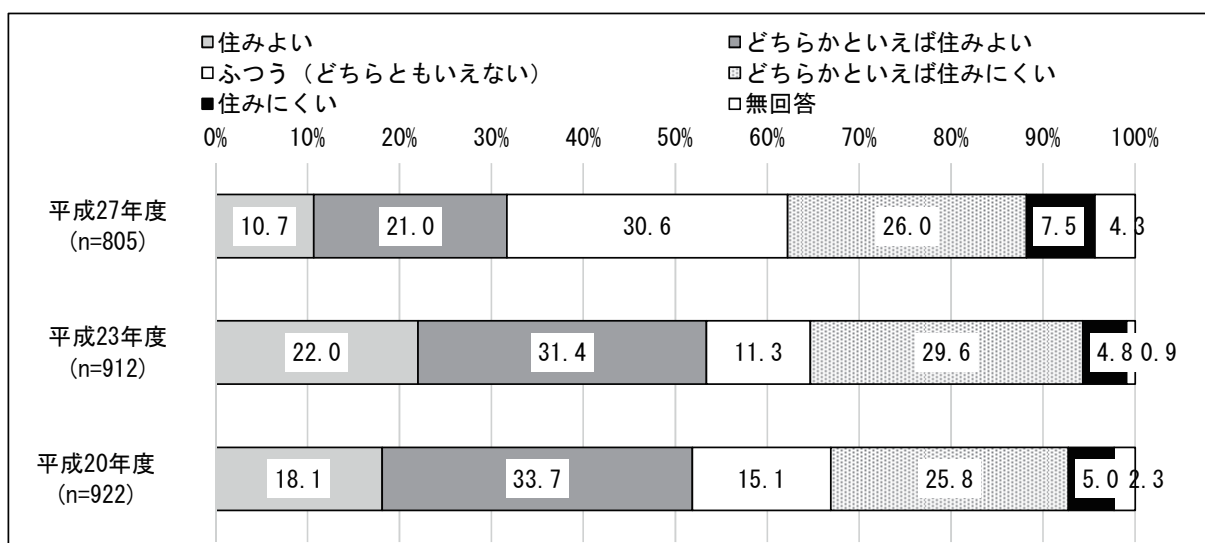
上段：人数、下段：割合、網掛けは各項目第1位（無回答は非表示）

- 年齢別にみると20歳代、30歳代後半、50歳代後半では「どちらかといえば住みにくい」が最も多い。

	合計	住みよい	どちらか といえば 住みよい	ふつう (どちら ともいえ ない)	どちらか といえば 住みにく い	住みにく い
全体	805	86	169	246	209	60
	100.0	10.7	21.0	30.6	26.0	7.5
18歳～19歳	9	0	0	3	3	3
	100.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3
20歳～24歳	25	1	7	4	8	3
	100.0	4.0	28.0	16.0	32.0	12.0
25歳～29歳	29	2	5	7	11	4
	100.0	6.9	17.2	24.1	37.9	13.8
30歳～34歳	42	0	7	19	15	1
	100.0	0.0	16.7	45.2	35.7	2.4
35歳～39歳	51	3	12	12	13	10
	100.0	5.9	23.5	23.5	25.5	19.6
40歳～44歳	68	4	18	21	16	6
	100.0	5.9	26.5	30.9	23.5	8.8
45歳～49歳	53	6	12	15	13	5
	100.0	11.3	22.6	28.3	24.5	9.4
50歳～54歳	71	5	17	22	16	7
	100.0	7.0	23.9	31.0	22.5	9.9
55歳～59歳	88	8	14	22	33	7
	100.0	9.1	15.9	25.0	37.5	8.0
60歳～64歳	123	17	26	42	28	5
	100.0	13.8	21.1	34.1	22.8	4.1
65歳～69歳	170	28	36	55	36	7
	100.0	16.5	21.2	32.4	21.2	4.1
70歳以上	72	12	14	22	16	2
	100.0	16.7	19.4	30.6	22.2	2.8

上段：人数、下段：割合、網掛けは各項目第1位（無回答は非表示）

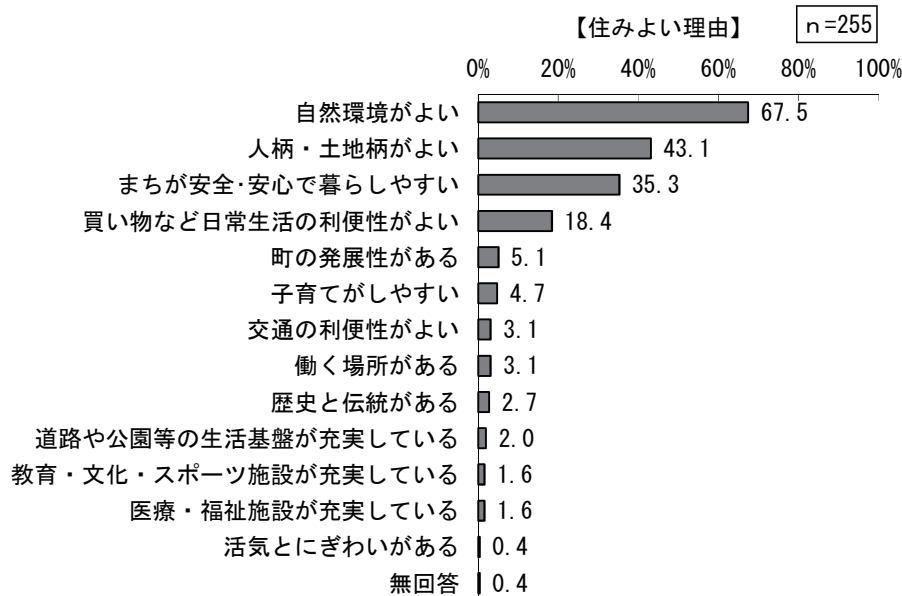
- 経年比較（※）でみると、「ふつう（どちらともいえない）」の割合が大幅に増加し、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」が低下している。



※平成27年度調査は調査対象年齢が前回調査と異なるため、参考データとして掲載

付問 問2で「1~2」または「4~5」に○をつけた方のみお答えください。
 ア 「1~2（住みよい、どちらかといえば住みよい）」の方の住みよい理由（主なもの2つまでに○）

- 住みよい理由は、「自然環境がよい」67.5%が最も多く、次いで「人柄・土地柄がよい」43.1%、「まちが安全・安心で暮らしやすい」35.3%と続く。



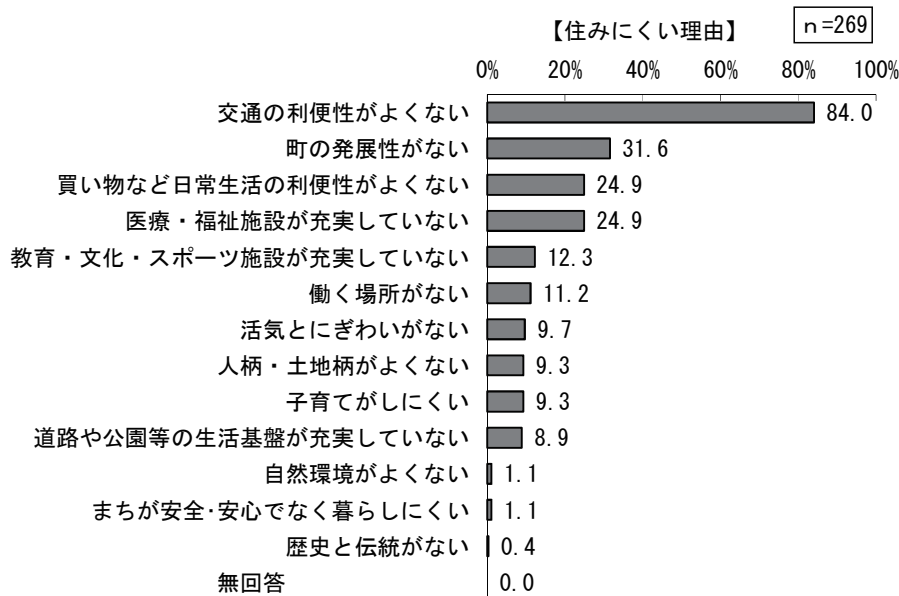
- 属性別でも全体結果と概ね同様の傾向である。
- 経年比較（※）でも「自然環境がよい」と「人柄・土地柄がよい」の上位項目は同じである。

	第1位	第2位	第3位
平成27年度 (n=255)	自然環境がよい 67.5	人柄・土地柄がよい 43.1	まちが安全・安心で暮らしやすい（※） 35.3
平成23年度 (n=487)	自然環境がよい 84.6	人柄・土地柄がよい 59.8	買い物など日常生活が利便性がよい 29.0
平成20年度 (n=478)	自然環境がよい 80.5	人柄・土地柄がよい 56.1	買い物など日常生活が利便性がよい 25.3

※平成27年度の第3位「まちが安全・安心で暮らしやすい」は前回までの選択肢にはない項目

イ 「4～5（どちらかといえば住みにくい、住みにくい）」の方の住みよい理由（主なもの2つまでに○）

- 住みにくい理由は、「交通の利便性がよくない」84.0%が最も多く、次いで「町の発展性がない」31.6%、「買い物など日常生活の利便性がよくない」「医療・福祉施設が充実していない」ともに24.9%と続く。



- 属性別でも全体結果と概ね同様の傾向である。
- 経年比較でも「交通の利便性」「医療・福祉施設が充実」「買い物など日常生活の利便性」の上位3項目は同じであるが、前回までに比べて「町の発展性がない」（平成23年度25.2%、平成20年度26.4%）が多い。

	第1位	第2位	第3位
平成27年度 (n=269)	交通の利便性がよくない 84.0	町の発展性がない 31.6	買い物など日常生活の利便性がよくない 医療・福祉施設が充実していない 24.9
平成23年度 (n=314)	交通の利便性がよくない 89.2	医療・福祉施設が充実していない 34.7	買い物など日常生活の利便性がよくない 34.1
平成20年度 (n=284)	交通の利便性がよくない 85.6	買い物など日常生活の利便性がよくない 41.9	医療・福祉施設が充実していない 38.7